

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
○ 子ども・教職員・保護者・地域が一体となり、「豊かな人間関係」を育み、信頼と愛着をもてる学校づくりを目指します。	
・豊かな心、健やかな体、確かな学力の育成に努めます。	
・家庭・地域と連携し、子どもたちが安心して学べる学校づくりに努めます。	
・教職員相互が啓発、連携、協力しながら、教師としての資質・指導力の向上に努めます。	
・教職員一人ひとりが力を発揮すると共に、チームとして学校力向上に努めます。	
・学校支援・地域連携本部「なみよんFANくらぶ」との密な連携を図ります。	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
豊かな心		すべての教育活動を通じて、自己有用感、自己肯定感を育み、自他を尊重する気持ちをもたせ、自信をもって自分を表現できる児童を育てることに努めています。	①認め合う・高め合う学年・学級経営の充実を図り、学年・学級の目標と達成に向けた具体的な手立てを提示する。 指針3 確かな人権感覚・意識の育成 ②子どもの実態をもとに、「私たちの道徳」などの教材を活用し、全学級の道徳授業公開を年1回以上実施する。 指針1 「道徳の時間」の充実 ③たてわり活動を充実させ、全校遠足やたてわり給食などを行い、異年齢でのつながりを深める。 指針2 体験学習の充実
担当	指導部		

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

子どもらしい明るさ、素直さの感じられる児童が多い。一方で、全体として自分に自信がもてない様子が見受けられ、「生活意識調査」でも自己意識にかかわる項目は市平均よりも低いものがほとんどである。また、学校生活に関するアンケートでは、あいさつや授業中の発表・発言などに「進んで」取り組んでいるかという項目の自己評価が他に比べて低く、自信がもてない様子と共に進んで人とかかわろうとする気持ちの弱さがうかがわれる。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・YP アセスメントの結果に基づき、「子どもの社会的スキル横浜プログラム」を年間指導計画に位置付けて実施するなど、意図的・計画的に子どもの社会的スキルの育成を図る。
- ・YP アセスメントの支援検討会を通して、学級や個人の課題改善に向けて教師集団が人権感覚・意識を高めながら、協働して取り組む校内の支援体制づくりを目指す。【視点7】

指針1 「道徳の時間」の充実

- ・講師を招いて研修会を実施し、道徳の時間の指導力向上を図る。
- ・全学級の道徳授業公開を年一回以上実施するとともに、懇談会等でも話題として取り上げ、家庭との共通理解、連携を図る。【視点1】

指針2 体験学習の充実

- ・運動会（並四音頭）、全校遠足、たてわり給食など年間を通した取組を通してたてわり活動を充実させ、異年齢でのつながりを深める。【視点3】